

1

広報 縄文村だより vol.239(1月号)

vol.239

Jomon Times

令和8年1月1日

●編集・発行●

奥松島縄文村歴史資料館
東松島市宮戸字里81-18
TEL 88-3927 FAX 88-3928

11月16日(日)、「奥松島縄文まつり」を開催。

「縄文村を遊びつくせ!」をテーマに、1日中縄文村を楽しめるさまざまなイベントを企画しました。

おまつり開始とともに続々と人が訪れ、体験会場は常に満員に!縄文体験を楽しんだり、競争に参加したり、屋台を楽しんだり…と縄文村を満喫していました。

無料縄文体験に
“新顔”登場!

火おこしや勾玉などが無料で楽しめる「縄文体験」に、カラフルな粘土を型につめて作るレプリカが登場!キャンディーのようなかわいらしさが人気を集めました。



土偶や勾玉がかわいいレプリカに。

縄文村まつり

縄文村を

遊びつくす



弓矢が初登場!!

たくさんの人が
“縄文人”になりきる!

「なりきり縄文人コーナー」と題したブースでは、弓矢体験がはじめて登場。矢が的に当たると歓声があがり大盛り上がりでした。石の斧で丸太を削る体験も、多くの方の興味を引いたよう。なかには縄文服を着て石斧を振る子も。すっかり縄文人になりきっていますね!



負けれない戦い!

午後のメインイベントは「火おこし競争」と「縄文力キ剥き競争」。今年はとくに賞品が豪華とあって、白熱した戦いが繰り広げられました。



里浜縄文人と同じ、シカ角ハンマーと骨べらで力キを剥きます。

INFO

縄文村講演会
のお知らせ

国史跡指定30年を迎えた里浜貝塚、千葉県加曽利貝塚、愛知県吉胡貝塚の3つの貝塚の魅力語る講演会を開催します。学史的にも超有名な3つの貝塚が一堂に会する「貝塚サミットの講演会」!縄文時代の貝塚の魅力語りつくします!

日時 2026 2月1日(日)

13:00~16:30(開場 12:30)

会場 東松島市コミュニティセンター

申込 申込不要・聴講無料

登壇者

水ノ江和同氏(同志社大学)
西野 雅人氏(千葉市埋蔵文化財センター)
増山 禎之氏(田原市博物館)
菅原 弘樹(奥松島縄文村歴史資料館)観味美魅
みりよく発見! ひがしまつしまの
観光と物産

東松島市の冬の味覚登場

東松島市の冬の味「牡蠣」の時期がやってきました。今年は10月27日に生牡蠣の出荷が解禁となりました。東松島市では、宮城県漁業協同組合鳴瀬支所、宮戸支所、宮戸西部支所の3か所で生産が行われており、東松島産の牡蠣は、一級河川が注ぐ奥松島の海で育つため、大粒で身が重く、養分とミネラルが豊富です。そのため、味がとても濃厚なのが特徴です。



牡蠣の生産だけでなく、牡蠣養殖の元となる「種牡蠣」の生産も盛んで、大正12年頃からの歴史があり、北海道から熊本県まで種牡蠣の出荷をしているほど全国の牡蠣漁師から高い評価を得ています。市内では牡蠣処理場や直売所で牡蠣を購入できるほか、牡蠣小屋で焼牡蠣を楽しむこともできます。牡蠣小屋の雰囲気味わいながら牡蠣を堪能するのも、購入した牡蠣をご自宅で楽しむのも冬の楽しみです。

旨味と甘みが凝縮された東松島産の極上牡蠣をぜひご賞味ください。

■あおみな焼がき施設 2月中旬ごろまで

※牡蠣の生育状況や水揚げ状況により終了時期が異なりますので、ご了承ください。

また、あおみなでは牡蠣の発送も取り扱っていますので、ぜひご利用ください。

■問 (株)東松島観光物産公社 ☎86-1511

野蒜海岸に流木干支アートが設置されます

▲市民有志により流木を集めました
▲前回は巳(干支)を制作し、冬の野蒜海岸のシンボルとなりました

市内在住の砂の彫刻家(サンドアーティスト)保坂俊彦さんによる流木等を活用した干支アートが、今年も野蒜海岸に展示されます。今年は午を制作しますので、野蒜海岸初日の出とともにぜひご覧ください。

※今年度は、海洋環境の保全と地域の環境保護、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、環境省ローカルブルーオーシャンビジョン(LBOV)プロジェクトの一環で行われます。

■問 SDGs・脱炭素社会推進課

☎内線1472-1475